

手引書の作成について(案)

名古屋市環境局公害対策課

1

作成目的

【リスクコミュニケーションの・・・】

- 普及啓発を行うこと
やってみようと思う事業者や市民を増やす
- 具体的なマニュアルを作成すること
これを見れば、リスコミのやり方がわかる

2

作成方針

できるだけ具体的な内容とする。

具体的な事例を多く挙げる

対象は事業者向けとする。

ただし、市民が実施を求める場合も想定

懇談会の意見をできるだけ盛り込む。

市民、事業者、学識者の視点を取りこむ

3

名称

手引書の作成目的にあった名称

案:「なごや発！化学物質のリスクコミュニケーションのすすめ」

その他のキーワード

まちづくり、地域、環境、対話、コミュニケーション
協働、安全、安心……

4

内容

本編

- ・リスクコミュニケーションの基礎知識
- ・参加者の選定、資料の作成方法など具体的なリスクコミュニケーションの方法 など

資料編

- ・用語解説
- ・詳しく知りたい場合の情報の入手先 など

5

普及の方法

冊子の作成・配付

- ・PRTR届出対象事業者等に配付
- ・事業者向け講演会で配付・説明
- ・なごや環境大学講座で活用

市公式ウェブサイトへの掲載

6

作成スケジュール

時期	内容
第7回懇談会 (H19.11)	・事務局から素案を提示
第8回懇談会 (H20.1~2)	・事務局から修正案を提示
H20.3末	・冊子の作成、配布 ・ホームページで公表

委員からの修正意見等については随時受付ける。

7